

市政一般質問発言通告書 (会派代表)・個人)

令和8年5月27日

多治見市議会議長 様



会派名 自民クラブ
14番議員 氏名 柴田 雅也

質問題名	世界情勢の影響による物価高騰への対応について
質問要旨	世界情勢に伴う物価高騰への市の対応について、現在の社会情勢（エネルギー価格の上昇や円安の継続など）を背景に、市民生活や市内経済をどう守るかという視点で質問します。
質問項目①	市長は現在の不安定な国際情勢が、本市の地場産業（タイル・陶磁器産業）をはじめとする市内事業者や市民の家計に与えている影響をどのように分析しているか。特に、実質賃金の伸びが物価上昇に追いついていない層（中低所得層）への認識を問う。
質問項目②	依然として続く不安定な世界情勢により、エネルギー価格や食料品価格、生活関連用品価格が高止まり若しくは上昇傾向している中で、「市民一人6,000円分の地域商品券」は5月下旬から発送が始まった。本市が選択した「地域商品券」という手法は、他の自治体と比較して、市民生活の維持と地域経済の循環という両面において優位性があると判断した理由は何か。
質問項目③	公共料金・公共サービスへの影響～水道料金について 令和8年4月使用分、6月支払い分から水道料金を20%増額改定済みであるがこの物価高騰は公営企業の運営コストへの直撃は非常に大きいと捉えている。現在の状況を鑑みて水道料金の段階的な価格改定について、どのように捉えているのか？
質問項目④	公共料金・公共サービスへの影響～給食費について 食材費の高騰が依然として続く中、給食の質を維持しつつ保護者負担を増やさないための公費助成の継続について見解を聞きたい。

/

質問項目⑤	市内事業者・地場産業への支援について • 今回のエネルギー価格高騰は陶磁器産業以外にも影響が大きい。これに対して、本市としてどのように捉え、支援する優先順位についてどのように考えているのか？ • ゼロゼロ融資の返済が進む中、物価高による利益圧迫で経営が苦しい事業者に対し、市独自の利子補給や借換支援の現状と拡充の必要性について見解はどうか。
質問の相手方	市長、教育長、企画部長、経済部長、建設水道部長